

# 持続可能な社会の創り手に必要な資質・能力を育成する「未来へつなぐ府中 2020 レガシー」の推進について

各学校が展開してきたオリンピック・パラリンピック教育において、5つの資質の育成と関連付けて発展させてきた活動と、持続可能な社会の作り手に必要な資質・能力を育成するための教育活動（ESD）、ふるさと府中の自然、伝統・文化を学ぶ「ふるさと学習」の取組を関連付け、各学校の経営方針、教育目標、児童・生徒の実態、地域性等に鑑み、学校の特色としてこれからも継続させる教育活動を、「未来へつなぐ府中 2020 レガシー」として新たに設定する。

持続可能な開発のための教育（ESD）として各教科等におけるSDGs（17の持続可能な開発目標）を踏まえた総合的な取組を推進 \* Education for Sustainable Development の略

### 教育活動の見直し

- 環境や人権、国際理解等のESD推進に重要な視点を踏まえた学びを実施する。
- 持続可能な社会の形成のための価値観を育成し取組意欲を育てるとともに、ESDを実践するための思考力・判断力・発信力などを育成する。

### 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点から、不断の学習・指導方法の改善を図る。
- 問題解決的な学習を適切に位置付けるなど、探究的な学習過程を重視し、学習者を中心とした主体的な学びの機会を充実させる。

### 育成を目指す資質・能力の明確化

- 知識・理解を生かし、様々な問題を「自分の問題」として行動する「実践する力の育成」を図る。
- 「持続可能な社会の構築」という観点を意識し、児童・生徒の価値観の変容を引き出す。

### ESDの効果的な推進

- ESDの実施を学校経営方針に位置付け、学校全体の組織的な取組として、指導計画に位置付ける。
- 児童・生徒による発信と学習成果の振り返りを適切に行う。
- 地域や大学・企業との連携の視点を取り入れる。

ESDは、SDGsの目標4のターゲットに位置付けられているだけでなく、SDGsの17全ての目標の実現に寄与するもの

### オリンピック・パラリンピック教育及びラグビーワールドカップおもてなし事業の取組



1 現状

- 平成28年度から令和3年度まで、全校において年間3.5時間程度実施
- 令和元年度のラグビーワールドカップ開催を機会に、ボランティア体験やおもてなしの取組を、各中学校が工夫を凝らして実施
- 各学校において、学校の特色を生かし、5つの資質の中から、重点的に育成する資質を選択し、教育活動を展開

2 オリンピック・パラリンピック教育で重点的に育成すべき5つの資質

- ① ボランティアマインド
- ② 障害者理解
- ③ スポーツ志向
- ④ 日本人としての自覚と誇り
- ⑤ 豊かな国際感覚



⇒ 共生社会の実現に向けて、特に府中では①②⑤を重視




### 府中「ふるさと学習」の推進

1 現状

- 「第2次府中市学校教育プラン」に基づき、平成27年度から実施
- 各学校において、社会科の学習や総合的な学習の時間などで実施

2 府中「ふるさと学習」における3つのアプローチ

- ① アプローチ1「産業・まちづくり」  
府中に暮らす人々の生活について知り、よりよいまちづくりに貢献する。
- ② アプローチ2「歴史・文化」  
府中の歴史と文化を理解し、ふるさとの伝統を守り引き継いでいこうとする。
- ③ アプローチ3「自然」  
府中の自然に親しみ、豊かな環境を保護しようとする。



第3次府中市学校教育プランの基本理念・目指す人間像の実現

SDGs（17の持続可能な開発目標）の視点で捉え直す。

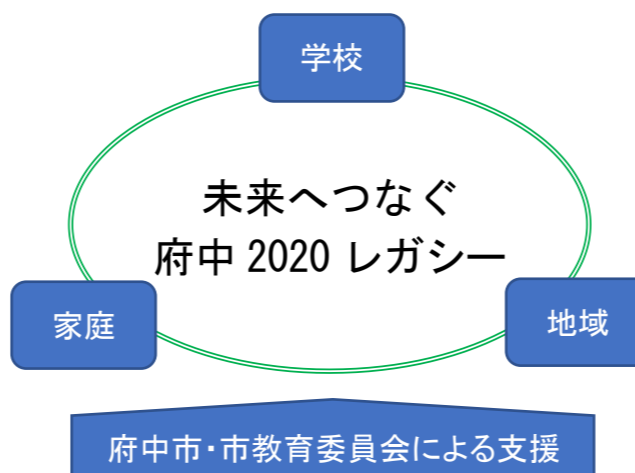
## 「未来へつなぐ府中 2020 レガシー」の推進

### 1 「未来へつなぐ府中 2020 レガシー」の内容

各学校が、共生社会の実現等に向けて、府中の自然や文化、人的資源を活用し、家庭や地域等と連携を図りながら、ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピック 2020 大会以降も長く続けていく教育活動

### 2 令和4年度の取組

- これまでの取組を6つのテーマに整理し、学校経営方針、児童・生徒の実態、地域性等に鑑み、学校の特色として継続又は新規に取り組む活動を、「オリンピック・パラリンピック教育」のレガシーと併せ、「ふるさと学習」の取組から、それぞれ一つ以上を「未来へつなぐ府中 2020 レガシー」として設定する。
- 全体計画と年間指導計画（ESDカレンダー）を作成するとともに、各教科等の年間指導計画において、SDGs（17の持続可能な開発目標）との関連を示す。



### ＜「未来へつなぐ府中 2020 レガシー」の取組例＞

6つテーマ	「未来へつなぐ府中 2020 レガシー」の取組例
ふるさと学習	まちづくり 「市政世論調査の結果」や「住まい環境調査の結果」など各種調査結果を通して、府中市のよさと課題を考え、住みよい町にするための方策を考えて提案する。
	歴史・文化 府中の歴史を調べ、府中に関係した先人や今に残る史跡・文化財に関心をもち、歴史・文化・伝統を引き継ごうとする態度を育てる
	自然・環境 府中の環境の現状と課題を知り、自分たちができることを考える。
オリパラ教育	ボランティアマインド 地域やPTA等と連携した地域清掃や、学校、通学路、近隣の公園などの清掃活動や落ち葉掃きなどを実施する。
	障害者理解 パラスポーツや学校行事等を通じて、特別支援学級や特別支援学校の児童・生徒と定期的に交流活動を実施する。
	豊かな国際感覚 東京外国語大学の留学生をゲストティーチャーに、世界の国々の歴史や伝統文化等について知る学習を実施する。